

笑顔こぼれるまち 南木曾
 ～自然・文化が育む、活力あふれるまちをめざして～

平成25年度 当初予算 予算総額 42億8,504万円

平成25年度 町長施政方針(予算編成)要旨

南木曾町長 宮川 正光

当町の計画的行政運営の指針である第8次長期振興計画が平成24年度をもって期間終了を迎えることから、次の10年間を計画期間とする「第9次南木曾町総合計画」を策定し、3月定例会で議決されたところであります。この計画では、「笑顔こぼれるまち 南木曾」自然と文化が育む、活力あふれるまちをめざして、基本理念に掲げ、町の未来に投資する「教育」と「定住対策」を重点課題に据え、安全安心のまちづくり、元気が出るまちづくり、みんなで支えあうまちづくり、教育の充実と健康のまちづくり、快適で住みよいまちづくり、健全財政のまちづくりの6つの政策を基本目標として総合的・体系的にまちづくりを進めるとしています。

私は、この総合計画をまちづくりの指針として、住民みんなが肩を寄せ合って暮らしていく、そんな町に住む喜びがあふれる南木曾町を目指して、まちづくりを推進してまいります。

本年度は、第9次南木曾町総合計画に基づく町政運営の初年度となる極めて重要な年であります。

自主自立の道を選択した当町は、少子高齢化や過疎化などへの対応等多くの課題を抱えておりますが、今ある現実をしっかりと見詰め、得る物を分かち合う気持を強く持ち、郷土の素晴らしい自然と人が共生し、笑顔こぼれる活力あるまちづくりに全力を尽くしてまいります。

町民の皆様には、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

今年度の一般会計は、32億5,300万円、24年度の当初予算と比較して5.8%の増となりました。また、平成25年度から10年間、南木曾町の行財政運営の指針となる『第9次総合計画』の基本理念・基本構想・基本計画に基づき、計画の初年度として予算を編成しました。教育の充実と若者の定住化の実現を目指して、子育て支援や住宅対策などのインフラ整備に重点を置くものとなりました。

町税は、景気低迷や納税者の減少を見込んで前年比1,032万円減額の5億8,609万円を計上、地方交付税は地方債の償還や小中学校児童生徒数の減により前年度より1億円程減少すると見込み、当初予算では16億円を計上しました。

新規事業等は、道路基盤整備で、町道大原線、町道大妻籠線、町道蘭広瀬線改良事業を中心に計上しました。

教育文化では、地元食材利用補助金の補助率の拡充、セカンド・サードブック事業、「南木曾の植物」記録集作成経費、総合型スポーツクラブ助成を計上しました。

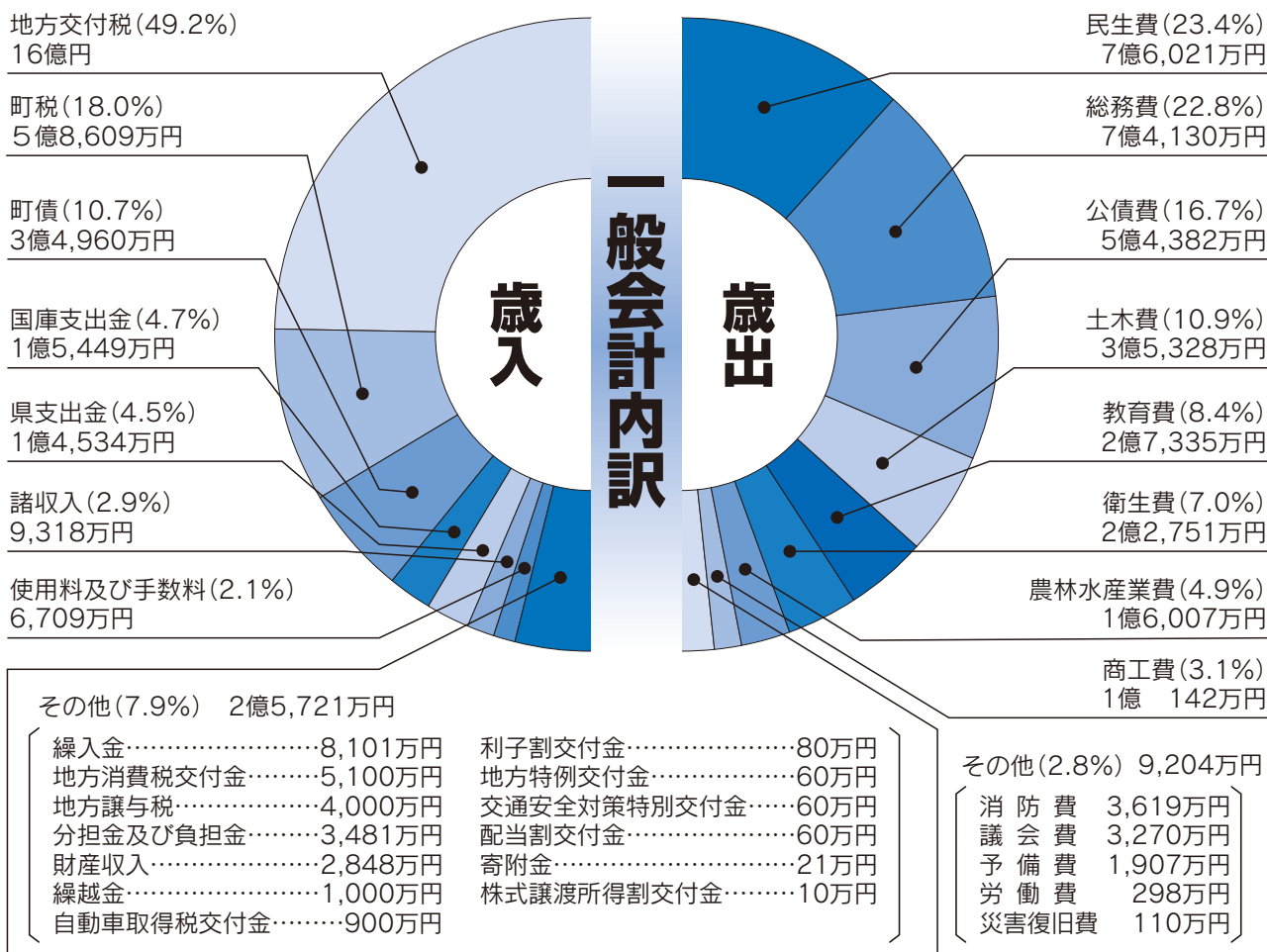
生活環境では、住宅リフォーム助成金の期間延長、ユーアイ住宅建設事業を計上しました。

保健福祉では、有償ボランティア育成事業、保育料減額助成「すこやか子育て事業」の期間延長、読書保育園改修事業を計上しました。

産業振興面では、柿其溪谷遊歩道整備、町内商店のポイントカード化への補助金を計上しました。

特別会計につきましては、国民健康保険等事業会計、簡易水道等企業会計合わせて7会計で10億3,204万円を計上しました。(前年比△3.1%)

一般会計予算総額 32億5,300万円



町税内訳

税目	予算額	構成比
固定資産税	3億8,418万円	65.5%
町民税	1億7,670万円	30.1%
軽自動車税	1,031万円	1.8%
その他	1,490万円	2.6%
町たばこ税	1,020万円	1.8%
入湯税	470万円	0.8%
合計	5億8,609万円	100.0%

特別会計予算総額 10億3,204万円

会計区分	予算額	増減率
南木曾町国民健康保険特別会計	4億9,624万円	△ 1.5%
簡易水道事業特別会計	1億8,438万円	△ 3.3%
南木曾町営妻籠宿有料駐車場特別会計	3,721万円	△ 13.5%
南木曾町下水道事業特別会計	6,647万円	3.5%
南木曾町農業集落排水事業特別会計	6,775万円	0.3%
南木曾町浄化槽市町村整備推進事業特別会計	1億557万円	△ 14.4%
南木曾町後期高齢者医療特別会計	7,442万円	3.2%
特別会計予算総額	10億3,204万円	△ 3.1%

平成 25 年度 一般会計の主な事業

総務費

役場分庁舎改修事業（森林組合事務所）	330 万円
新交通システム経費	6,270 万円
木曾広域連合負担金分担金 （消防費・清掃費等）	2 億 9,702 万円
戸籍副本データ管理システム経費	205 万円

民生費

社会福祉協議会運営費補助金	918 万円
老人福祉施設入所措置費	2,425 万円
有償ボランティア育成事業	129 万円
障害者総合支援給付事業	1 億 199 万円
乳幼児・児童医療費	920 万円
子育て支援事業経費	396 万円
すこやか子育て支援事業補助金	500 万円
子育て基金積立	1,000 万円
読書保育園耐震改修事業	1 億 1,023 万円

衛生費

予防接種事業	919 万円
検診事業（がん検診等）	788 万円
坂下病院救急医療負担金	432 万円
母子衛生事業（乳幼児健診等）	571 万円

農林水産業費

中山間地域直接支払制度交付金	3,513 万円
地籍調査事業	846 万円

森林病虫害等防除対策事業	451 万円
有害鳥獣対策事業	447 万円

商工費

南木曾駅運営経費	355 万円
小規模事業指導費補助金	650 万円
地域交流事業（美しい村連合等）	124 万円
観光施設整備事業 （柿其溪谷遊歩道整備）	1,079 万円

土木費

町道維持補修事業	4,922 万円
町道新設改良事業 （大原線、与川線、蘭広瀬線改良等）	1 億 1,600 万円
橋梁維持補修事業	4,350 万円
（与川渡橋・広瀬本谷橋修繕）	
住宅リフォーム補助金	400 万円
ユー・アイ住宅建設事業	3,579 万円

消防費

消防団運営経費	3,347 万円
---------	----------

教育費

地元産食材利用補助金	90 万円
セカンド・サードブック事業	11 万円
放課後子ども教室事業	306 万円
「南木曾の植物」記録集製作費	160 万円
総合型スポーツクラブ助成	210 万円

町の予算を南さん家の家計に例えてみました

（予算を分かりやすくするために、町の予算を給料 100 万円の家計に当てはめてみました。）

◆収入

項 目	金 額
給与（町税）	100 万円
妻のパート収入（負担金等）	52 万円
前年度余剰金（繰越金）	2 万円
親からの援助 （地方交付税・国補助金等）	272 万円 69 万円
ローンの借入（町債）	60 万円
合 計	555 万円

南家の収入は、南さん本人（町税）とパート勤めの妻（負担金等）の給与を合わせて 152 万円しかありません。

そのため、家計の半分以上の 341 万円を親からの仕送り（地方交付税・国補助金等）に頼っています。

また、住宅リフォームなどのためにローンの借入（町債）を 60 万円行って家計を支えています。

支出では、食費、医療費、ローン返済など（人件費・扶助費・公債費・物件費）の生活に必要な費用が半分以上の 319 万円を占めています。

給与の増加は見込めず、親（国）の厳しい状況から仕送りの大幅な増加も難しいことから今後も節約が必要です。

◆支出

項 目	金 額
食費（人件費）	112 万円
医療費（扶助費）	45 万円
ローン返済（公債費）	93 万円
光熱水費（物件費）	69 万円
住宅リフォームなど（投資的経費）	78 万円
補修など（維持補修費）	2 万円
町内会費など（補助費等）	73 万円
子どもへの仕送り（繰出金）	70 万円
貯金・予備など（積立金等）	13 万円
合 計	555 万円